

## ●グループホーム活動報告（4～12月）

各ホーム単位、あるいは合同で幾つかの行事を行いました。前年までとは一歩進んだ内容で企画することができました。

- ①リフレッシュ企画：6月下旬、外出に行きました。ホーム毎に希望を聞き、懐石料理や中華料理、イタリアンと、様々なお店での食事会となりました。新たな入居者の自己紹介もあり、親睦を深める機会ともなりました。
- ②避難訓練：10月に各ホーム単位で実施しました。地震の際の身の守り方、備蓄品、広域避難場所、福祉避難所の確認を行いました。年に一回の大切な機会として今後も計画していきます。
- ③一日外出：11/3（金）鷺沼、幕張第二メンバーで木更津方面へ。アナゴ料理とクマの陶芸教室で招き猫の絵付け体験を。11/25（土）大久保、幕張メンバーで銚子方面へ。シーフードレストラン、銚子電鉄乗車と屏風ヶ浦の散策を。



①事前にお店をチョイスし当日を迎えました。新しいメンバーとの交流や気分転換の機会に。また「自分でメニューを選ぶ・決める」「普段と違う日課の中で考えて行動する」ことも経験できました。



②皆の経験値も様々。初めてのメンバーには丁寧に説明をし、訓練経験者には主体的に考える促しを。



③天候に恵まれ（この時期にしては暑さも！）、渋滞にも大きく巻き込まれず予定通り進行。どちらのグループも美味しい海産物に舌鼓。絵付け体験（クマの陶芸教室）では持ち前の集中力を発揮、屏風ヶ浦では初めて見る地層に驚きと、それぞれグループの特色が出た外出となりました。今後も季節ごとの行事を企画していきます♪



## ●就業・生活支援センター活動報告（4～12月）

ようやくコロナも落ち着きを見せ始め、支援センターの会議や企画事も徐々に対面で行なう形式が増えてきました。

- ①地域意見交換会：ここ数年叶わなかった参加者の方々の声を聞くことを重視し、グループワーク形式として開催しました。学校編、支援機関編、企業編、全体会の計4回、延べ136名の参加がありました。
- ②在職者交流会：近隣にあるプラッツ習志野を会場に3回開催し、12月にも第四回を行う予定です。毎回50名前後の在職者の方にご参加いただき、1分スピーチ（自己紹介等）や、ミニゲーム等を行っています。
- ③ふれあい会：今年度は6月にプラッツ習志野にて全会員が集まる総会と、11月には同じ会場の市民ホール（定員約300名）にて和太鼓鑑賞会&体験会を実施しました。本人主体の会として、今後も楽しい企画を検討中です！！
- ④在職者オンライン交流会：ZOOMを使用して、月一回オンラインでの在職者交流会も行っています。



①最後の全体会では、「働く（障がいのある）従業員の戦力化」について立場を越えた意見交換を。



②在職者交流会は申込不要。あかね園の支援センターに登録している在職者であれば自由に参加することができます。途中参加も可能ですので、「ふらっと気軽に」立ち寄ってみてください。初参加の方も増えた今年度。職員としても毎回楽しくやり取りさせていただいています。



③11/22（水）の夕方に開催した「秋の集い」。前半は役員さんが中心となって会場インタビュー（近況報告）を実施。後半は、約3年ぶりに船橋芝六太鼓さんをお招きし芸術の秋を堪能。以前の余暇サークルで叩いていた演目の体験会では、衰え知らずのパフォーマンスを披露！



## 【令和5年度 入職職員ご挨拶】

就労継続支援B型事業に配属になりました、高阪（こうさか）葵です。人の成長を近くで感じられるこの仕事に魅力を感じています。まだまだ未熟なところばかりですが、常に元気に明るく一生懸命頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



就労移行支援事業に配属になりました、築取（やなとり）大雅です。学生時代は福祉と違う分野を学んできましたが、利用者の方の気持ちを一番に考えながら日々の学びを大切に、共に成長していきたいと思っております。至らぬ点も多くあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



# あかねの集い

## 「材」は「財」なり

～福祉業界の職員（人材）の確保、定着について～

第176号  
令和 6年 1月31日  
発行者  
社会福祉法人あひるの会 あかね園  
〒275-0024  
千葉県習志野市茜浜3-4-5  
TEL 047-452-2715  
<https://akaneen.com/>

社会福祉法人あひるの会 あかね園  
統括施設長 松尾 公平

皆様が健やかに新年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は園舎の建て替え等に際し、あかね園に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新しい年を迎え、心痛ましいニュースばかりが聞こえてきますが、何かあかね園として明るい話題は…と考えた時に思いついたのが、あかね園の「人材」（職員）についてです。

近年、「福祉の担い手がいない」というニュースを皆さんも頻りに耳にするかと思いますが、実はこの福祉の人材（支援者）不足の問題は「高齢者福祉」に限った事ではなく「障害福祉」も同様です。

県内各所でも若い世代の支援者が採用できず、外国人や高校生の採用に頼るも離職者の補充すら追いつかず、一部サービスの停止や廃業した事業所も増えており、問題は深刻さを増しています。

福祉業界に人材が集まらない理由のひとつに「仕事が大変」、「給与が低い」、「休みが少ない」等々、福祉業界に対する実態以上の負のイメージが払拭できていないことも一因のようですが、近年の一般企業の新型コロナが及ぼした影響の大きさや倒産件数に比べたら事業の安定性や給与面、休み等ではむしろ福祉業界の方が恵まれている部分も多いのでは、とも正直思ってしまうのですが…

そんな中でもあかね園の職員達は昨年一年間も、園生達の働く活動の充実に奔走し、多くの成長を引き出しながら、就職率、職場定着率、工賃なども全国平均を大きく上回る実績を残すことができました。

実はこのあかね園の就職実績や高い工賃の背景の一つには、あまり知られていない日々の夕方から「第2ラウンド」ともいえる職員達の努力や奮闘があります。

園生の降園後には、職員間での今日一日の園生の様子の共有、翌日の作業の準備や各作業班、企業等との調整を行います。また、各家庭との意思の疎通（情報共有）も大切な支援です。共働き家庭も多い為、夕方や夜遅くの連絡となる事も。また仕事帰りの卒園生からの悩み相談や「頑張っているよ」の電話も毎日のように頂きます（笑）。ようやく自身の机に座ると、今度は「帰宅予定時間になっても帰ってこない」との家庭からの連絡が入ることや電車が不通になった！と情報が入れば「駅で利用者が取り残されているかも」と複数の職員が駅まで緊急出勤したり…などなど様々なケースに日々対応を求められています。

各家庭のニーズやライフスタイルの変化と共に職員の業務の幅も量も変わり、働き方もまた変化してきました。人相手の仕事ですから、当然、計画通り（思い通り）に業務が進まないことも多く、帰り支度をしていても電話が鳴れば誰もが受話器をとり、「当たり前のこと」として対応している職員の様子を日々目の当たりにしながら職員達への感謝の思いと志の高さを誇りに感じ、法人にとっての大切な「人材」であることを心底感じています。私たちの仕事は簡単に放棄したり停止できないサービスでもあり、そこが「エッセンシャルワーカー」（必要不可欠な仕事）と位置付けられている所以でもあります。

今年待望の新園舎が完成します。あかね園の“新たなステージ”のスタートを節目に「利用者ファースト」の支援の実現の為に「人材」としての職員の育成にも法人として力を尽くしていく所存です。

良い人材が多くいることが「園生や家族にとって」に繋がることの理解を頂きながら、これからも皆様にはあかね園と、そして職員達を温かく見守って頂きたいと存じます。本年も何卒よろしくお願いいたします。

# ～仮園舎に移って～

令和5年10月17日(火)より、あかね園本体施設の活動の場が仮園舎に移りました。幸いなことにお隣企業さん(京葉測量㈱さん)の敷地内という好立地を使わせていただくことができましたが、登園から降園まで一日を通じて新たな空間でのルール・マナー等、一つ一つを確認・検証しながらの2ヵ月、ようやく落ち着きを見せて来たところです。仮園舎と言ってもあくまで一企業の中ですから、廊下やトイレ、駐車場等で企業の方々と動線が重なります。「公共の場で」「地域の中で」「共生社会」と、従来よりあかね園が目指してきた/求めてきた理念について、その実現に向けて改めて職員も考えさせられる/多くの気づきを得られる期間でした。

企業(=地域)の方の目をしっかり認識しながら、実践的な活動の場でさらに力を付けられる一年にしていきたいと思っています。今号では、その仮園舎に移ってからの様子を事業毎にご紹介します。

《自立訓練事業》 長年慣れ親しんだあかね園の建物から仮園舎に移り、約2ヵ月が経過しました。この間、利用者にとっても、職員にとっても様々な変化が求められました。職員は、連絡帳を受け取るだけでも、その場所、タイミング、動線確保等、日々考えることが山積みの状態でした。折りしも受注作業は繁忙期。企業のオーダーに答えるべく、職員も毎日必死に作業に入りました。利用者の皆さんは、新しい環境(日課、作業場、休憩スペース等々)に戸惑いながらも、職員の言葉にしっかりと耳を傾け、現場が一定の落ち着きを見せるまで、日々変わる状況に一生懸命適応しようと頑張ってきました。この間の状況と努力は、意図的に作ろうと思っても難しい、非常に貴重な経験になったと考えています。(石坂)

《就労移行支援事業》 元々本体施設から離れ、京葉測量㈱内を拠点として日々作業を行っていた為、他事業と比較すると引っ越しに伴う大きな混乱はさほどなかった様に感じます。もちろん、日課や作業場のレイアウトが変更するという事は「これまでと同じ空間なのにルールが違う」という状況が発生する為、引っ越し当初は困惑する様子も見られましたが、オリエンテーションの内容をメモに残し、疑問点を積極的に職員に質問する姿はさすが移行班という印象を受けました。住商班の利用者さんも、園戻りに仮園舎での日課やルールを確認しました。企業就労を目指す利用者さん達にとって、今回の仮園舎での生活が、新しい環境にどう順応するかを学ぶ良い勉強の機会になったと思います。(伊藤佐)

《就労継続支援B型事業》 作業や行事で長年仲間と汗水流した、思い出の詰まったあかね園舎との別れ。仮園舎での活動が始まる中、解体が進む様を横目に、「ばいばーい」と手を振る利用者の姿も見られたり・・・寂しさや不安、新園舎への期待・・・様々な思いが交錯しながら、怒涛の2ヵ月が経過しました。職員は第一に、慣れない環境での怪我や事故の防止に細心の注意を払い、見守りや介助等のサポートを行いました。また、各所での新ルールを繰り返し確認する等、利用者の皆さんにとって緊張感ある毎日が続いたかと思えます。これまでも多くの変化に立ち会い、そして乗り越えてきた経験を沢山持つ継続事業の皆さん。多くの方が新たな環境に順応されてきています。引っ越し後も作業は忙しく、残業する日もありました。環境は変わっても、懸命に働き、リフレッシュタイムも大切にしながら、社会のルールを学び直したり、新たな体験を重ねたりする機会を皆で楽しんでいきたいです。(本吉)



※写真(左上から時計回りに)自立は別館A室に引っ越し/連絡帳の提出等、日課の一つ一つを見直し/継続Bは別館B室に、カーテンで作業場内を区切り様々な作業種に対応/移行別館班は第2作業場の一階へ/仮園舎全容、右が食堂、左が会議室

## ■日帰り旅行

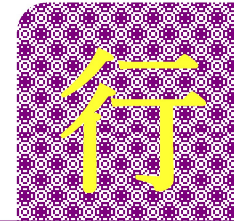
・6/29(木) 自立訓練事業:香取市にある農園リゾート・ファームに行ってきました。晴天の下、季節の野菜収穫体験や飯盒炊爨とカレーを作りました。普段では味わえない貴重な体験ができ、皆で協力して作ったカレーが特別美味しく感じたと思います。



・7/6(木) 就労継続支援B型事業:鴨川シーワールドに行きました。有名なシャチやイルカのショーや、水族館の魚達を見て楽しみました。お昼は館内で豪華なランチを食べ、笑顔の絶えない一日となりました。

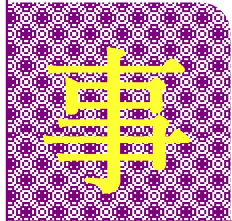


・11/17(金) 就労移行支援事業:栃木県芳賀郡の茂木町・益子町に行きました。あいにくの荒天でしたが、午前中は「モビリティリゾートもてぎ」でレーシングカーのゲームや展示、巨大アスレチックを堪能、午後は益子焼き作りを楽しみました。自然に多く触れた、充実した旅行になりました。



## ■納涼祭

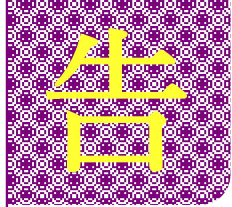
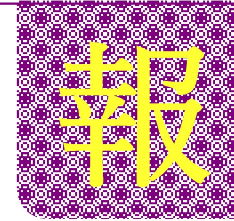
7/15(土) 納涼祭を開催しました。今回はコロナ対策を十分に講じつつ、場所や事業を大きく分けることなく、3年ぶりに全事業が一堂に会して開催する形式としました。当日は利用者、職員合わせて128名が参加し、日頃の労を労うべく、ゲームや食事を楽しんでいただきました。



## ■秋の外出

今年度は園舎建て替えに伴い、例年秋に行っていたバザーや秋祭りができませんでした。そこで、自立訓練事業ではリフレッシュの機会を兼ね、秋の外出を企画しました。

あかね園のご近所、幕張豊砂に来た「木下大サーカス」を観に行き、その後イオン幕張新都心店のフードコートで外食を楽しみました。今回の外出のテーマは、『初めての体験』。一人一人が必ず初めての体験ができるよう、事前にグループ毎に計画立てを行いました。初めてサーカスを観た方や初めてのお店、初めて食べた物等、なかなか経験ができない貴重な一日を過ごすことができました。



## ■忘年会

12/8(金) 就労継続支援B型事業  
12/12(火) 就労移行支援事業  
12/15(金) 自立訓練事業  
ホテルグリーンタワー幕張の20階を会場に忘年会を行いました。



乾杯と同時にカーテンオープン! 眼下には海や幕張のビル群が。



今年一年を振り返る映像を見ながら食事へ。自立と移行はフレンチ、継続は和のコース料理を堪能。



後半はゲームで盛り上がり、各事業季節や今年の作業に関連するプレゼントをゲット。和みのひと時を過ごしました。